

令和8年度 第1回公民館運営審議会会議録

日 時 令和8年6月4日（木）
午後3時20分 開会
午後4時 8分 閉会
場 所 笠間市役所 教育棟 2階 2-2 会議室

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議 題
 - （1）令和7年度公民館事業報告について
 - （2）令和8年度公民館事業計画について
- 4 その他
特になし
- 5 閉 会

出席委員 5名（うち委員長、副委員長各1名）
欠席委員 3名
傍聴者 なし
事務局員 4名

司会 事務局
進行 委員長

事務局：開会の挨拶

委員長：委員長挨拶

- 3 議 題
 - （1）令和7年度公民館事業報告について
- 事務局：組織図により公民館の組織体制等について報告
笠間市立公民館の令和7年度事業報告について、説明

委 員：子育て応援コースのベビーマッサージは、どのような理由で中止になったのか。

事務局：志民大学の前期全体に募集をかけたが申し込みがなく、講師の方とも調整したが、やむを得ず中止となった。

事務局：志民大学は、いろいろとコース分けをしており、人気のデジタルコース、歴史・文化コースは定員以上に申し込みがあり、抽選で落選された方がいる。人気の講座は、定員を増やして募集をかけるなどのご意見もあったが、講師の方が材料を準備できる都合上難しいので、前期と後期に続けて開催している。

委員：友部公民館の和室利用は、結構な頻度で利用実績が0回となっており、集計を和室1と2に分けているが、この数字は合算しているのか。

事務局：隣り合わせの小部屋で、仕切りで別々の部屋になっている。笠間と友部を比較すると、笠間は比較的利用が多いため人数も多く、大きな競技イベントは隣接の市民体育館を利用し、ヨガや体操などは笠間公民館の和室を利用している。友部は体育室を和室の代わりに利用しているので、利用が少なくなり両館で利用回数が違ってくる。

委員：岩間公民館調理室の利用が少ない理由を教えてください。

事務局：調理に関する定期利用団体が数団体あったが、数年前のコロナ禍により活動休止を経て、その後活動をやめた団体があった。現在は、一般の団体が年数回の利用となっており、全体の利用状況から比べると調理室が少ない状況である。

委員：岩間公民館の調理室だが、子ども食堂の利用で申し込みをしたところ、利用の仕方によりお断りをいただいた経緯がある。室内は狭く窓もないので、たくさんの人数のものを作るには不便だが、もう少し利用する方法を考えて、市民の方に情報発信しないと使っていただけない。

事務局：当初から調理室ではない部屋を改修によって、調理室としたので窓はない。利用の頻度が少ないので、市民の方が利用しやすいように検討する。

委員：岩間の人たちも調理室が使えることが、あまり知らない状況なので、情報発信が必要と思う。できれば子ども食堂で使わせていただくと有り難い。

事務局：子ども食堂としての利用は難しい。

委員：定期的に使っていただいた方が、利用頻度が上がると思うので、よろしく願いしたい。

事務局：利用頻度が上がるよう検討したい。

委員：調理室の理想的な使用法として、利用の内容や規則について教えてほしい。

事務局：実際の利用状況だが、過去に岩間食のお楽しみ会という団体が、自分たちでお菓子を作って試食する内容で活動していた。また、スポーツ少年団のクリスマス会など軽食を作って、別の部屋で食べたりする利用が主なものである。

委員：定期的に申し込みしないと駄目ということか。

事務局：定期利用団体しか利用ができない訳でなく、一般の登録団体でも利用申込が可能である。子ども食堂は利用が難しいが、調理をして軽食を作り自分たちで食事を楽しむ利用なら問題はない。

委員：調理器具は一式揃っているのか。

事務局：一通り揃っているが、作る料理によっては足りないものがあるので、事前に確認してもらいたい。

委員：市の公民館として、子ども食堂の利用は認められないのか。

事務局：公民館は社会教育法による施設で、営利を目的とするものについては利用できないものがある。岩間公民館の状況だが、子ども食堂は営利目的ではないが、収容人数などで難しい状況である。笠間公民館も調理室があるが、調理実習室なので、機能的には、給食などを作るのではなく、本来は講師の方と市民の皆さんで料理を覚えたりする利用が理想である。部屋の利用頻度もあるので、子ども会のクリスマス会など利用していただいている。

委員：毎週土曜日に岩間公民館を会場にして寺子屋に集まる小学生が、市民センター内の 1 階ホールでお昼弁当を食べている。帰りがけの子どもたちにカレーライスなどを作って提供したいので、公民館に調理室を利用できないか確認したところ、社会教育施設なので利用はできないとお断りをいただいた状況だった。

事務局：担当に確認して検討したい。

委員長：国、県、地方自治体も人口減で行政サービスの継続について、施設の数を減らすことが、課題となっている。公民館と図書館の複合化を検討している話を聞いた。笠間市の公民館で単独館なのは、笠間と友部で、独立した建物になっている。独立した建物とは、公民館の機能を発揮するための計画により、部屋などが配置されている。統合により共用スペースの縮減はできるが、複合的にすることで一つの建物としての機能が発揮できるのか疑問である。複合化により地域の人たちが活動に困らないようにしていただきたい。友部の子ども食堂は、トモアと社会福祉会館で行っているが、できる場所に対応するしかないが、地域の要望にどれだけ答えられるかが課題であり、施設があるのに使えないのは、市民の理解が得られないのではないかと。

事務局：地方公共団体の人口減が課題であり、現在の状況を維持するために、公共施設の配置計画を立てている。今後、議論して行く過程で、パブリックコメントなど市民の方の意見を取り入れる予定である。

（２）令和８年度公民館事業計画について

事務局：笠間市立公民館の令和８年度事業計画について、説明

委員長：令和７年度サマースクールの実績を見ると、各回１０名以下の参加人数だが、社会福祉協議会でも同様なことをやっている。社会福祉協議会とのやり取りはあるのか。

事務局：サマースクールなど子ども向けの講座は、どうしても内容的にバッティングしてしまうことがある。全体で調整ができればよいのだが、出前講座やいろいろな分野の講座をやっているので、調整しきれない部分もある。内容が被らないよう夏休みの期間に、子どもたちの興味があるものを企画したい。子ども大学との兼ね合いもあるので、公民館は、少し違ったものを計画している。

委員：いろいろなところで多種多様な講座を開催しており、選択肢が多く子どもたちも大変悩ましいと思う。例えば夏休みのお料理教室は、ヘルスリーダーが募集をかけて何回も開催しており、結構な人数が集まる。その他に社会福祉協議会でも開催してるので、公民館までやる必要はないのではないかと。

事務局：子ども大学でコース的なものは、いろいろ企画できるが、他の団体との兼ね合いや子どもたちも夏休みの限られた期間なので、公民館の中でもサマースクールは、継続課題として議論して行きたい。

委員長：講座の実施日が、同じにならないように情報交換すればよいのではないか。

委員：夏休みも親は忙しいので、子どもたちは学童があるのが主流である。私たちもボランティアで岩間第一小の学童に読み聞かせで入り込ませていただいているので、一般の講座に親子で参加するのは難しいと思う。公民館もその辺を考慮した方がよい。

事務局：閉会の挨拶

午後４時８分 閉会